

43年ぶりの引っ越し
~turbo 爺の引っ越し騒動記~
(2020.7.4-10.30)

turbo777

目次

| | |
|---------------------------------------------|----|
| ブログ | 4 |
| その1. 2020.6.30(火) ..棚卸しを実行 | 5 |
| その2 2020.7.6(月) ..寸法測定、1/20 模型 | 10 |
| その3 2020.7.16(水) ..写真のデジタル化と土地測量 | 14 |
| その4 2020.7.23(水) ..清掃工場へ持ち込み | 17 |
| その5 2020.7.29(水) ..CamScanner デジタル化 | 20 |
| その6 2020.8.8(土) ..サカイ引越センターの見積もり | 24 |
| その7 2020.8.14(金) ..お盆の粗大ゴミ | 27 |
| その8 2020.8.22(土) ..スケッチブックの処理、種貨ザクザク | 31 |
| その9 2020.8.29(土) ..Book Off | 36 |
| その10 2020.9.5(土) ..ピアノ室の吸音材 | 39 |
| その11 2020.9.12(土) ..「家の43年」の歴史をPowerPoint に | 41 |
| その12 2020.9.19(土) ..処理が留に絡めているもの | 45 |
| その13 2020.9.26(土) ..スウェーデン製 Innovator の家具 | 47 |
| その14 2020.10.3(土) ..パラボラアンテナ | 50 |
| その15 2020.10.10(土) ..引っ越しのシナリオ | 53 |

| | | | | |
|------|--------------------|------------------------|-------|----|
| その16 | 2020.10.17(土) | 「キッチンとダイニングの断捨離 | | 55 |
| その18 | 2020.10.18-23(日-金) | 「引っ越し前夜 | | 58 |
| その19 | 2020.10.21-23(水-金) | 「引っ越しの実際 before-After。 | | 62 |
| その20 | 2020.10.23(金) | 「新居近くのモーニングサービス | | 64 |
| その21 | 2020.10.21-23(水-金) | 「引っ越し失敗事例 | | 65 |
| その22 | 2020.10.30(金) | 「夫婦協働 | | 68 |

プロローグ

43年ぶりの引っ越し物語。場所は相模原市緑区。

旧住居は橋本駅から4.3km。43年前のS52.5にツーバイフォー工法で木造2階建てを新築し都内から移り住む。当時長女2歳、長男0歳。その後次女が生まれ、実母を引き取るなどをして増改築を繰り返す。

最終的には敷地およそ240平米の土地に、中二階付きの建坪36坪、7LDKの住居となる。別途

2002年に終の住いとして駅から900mの場所に建設されるマンション群の1棟の10階の一戸を購入。

この時主(あるじ)は2年前から岐阜県中津川市で教員生活の単身赴任中。2002年の時点で新居が

住民票記載住所となる。妻は2021年5月までに車を手放し駅から近い新居に移り住むことを決断し引

越しを裁断。家族が住む新居は2021年2月までに明け渡してもらうことを条件にその約1年前から不

動産へアクセス。

結果として11月末までに更地にすることを条件に旧住所の土地の売却が決定。

新居は西橋本。32階建てタワマン、10階の一戸。約80平米。3LDK、南西角。娘たちが居住してい

た。2021年2月予定を5ヵ月ほど前倒してもらい、2020年9月末から空き家となった。

その1. 2020.6.30(火) .. 棚卸しを実行

■43年ぶりの引っ越しが本当になりそうな勢いで物事が進んでいる。予定としては11月末までに更地に！

垣根を剪定して山のような残滓（ざんし）を片付けていたら「大きい庭で大変ですね」と道行く人から声をかけられた。全然大きくないので、お世辞か揶揄かどうかわからないのであるが、一周している間に1年が経つことは確実で、やることが毎日山のようにある。サボればその分木々が嬉々として成長する。

芝生に生えた雑草も抜き取るかわりに低く切りそろえなければ。

背丈の大きくなった紫陽花も咲き終わったので強剪定をしてサッパリと。毎日稗付きバツタのように汗だくになっても終わらないのである。

不動産売買的にみると、土地を買い、家を建て、増築に次ぐ増築で子供達の成長と実母の同居などを経ての現在(2020/6/30 時点)の静かな2人住まい。増築に伴って庭がその分狭くなっているのにも関わらず、植え替えたりしながら辺縁の木々が成長してしまい、その対応に日が暮れるという日常である。総額の引き算でいうと、不思議なことにチャラとなっている勘定か。43年間の家賃がゼロという信じられない結果だ。賃貸マンションやアパートで7LDKなどの条件はそんなに無いのであるが、安く見積もっても毎月拾数万円を支払ったとして合計数千万円となる。これが“タダ”で済んだということになるわけで、賃貸に住んでいると如何に損であるかということがわかる。

このような計算が成り立つためには土地の価格が少し値上がりしている必要があるが。日本ではもともと平地が少なく、人口減になっても今より広い家に住みたいというので需要は高いのだろう。

さて、誰もが経験する「引っ越し」は人生最大イベントの一つである。当方は 18 歳で東京へ来てから 11 回目の引っ越しで平均すると 1 回当たり 5 年と 2 ヶ月。この 43 年は無かったので過去の分では 1 年半毎という頻度で引っ越しをしていたことになる。過去ならベテランの領域であるが、今ではやり方を忘れてしまって初心者である。「オンライン引っ越し」で、実際は引っ越ししないという手はないのだろうか。

学生時代は猛者(もさ)が随分といた。背中に机と布団袋を背負って両手に家財道具をぶら下げ下駄ばきでアパートからアパートへと。こんなのは当たり前の引っ越しスタイルであったわけである。

■一番傑作なのが 43 年前の引っ越し。その時の 1 日は一つの物語になるのではと想ったりしている。

国立(くにたち)の民家の倉庫の 2 階にあった 1DK に住んでいた家族 4 人(妻、長女 2 歳、生まれ立ての長男 3 ヶ月)の引っ越しである。赤ん坊と 2 歳はその日の段取りなどはわからず普通に泣き、笑い、遊び、食事をしているのであるがいつもとは様子が違う。空っぽになったダンス群と段ボールの山の谷間で 4 人がちょこっとお座りをしながら離乳食をすこしずつ口に運び、おっぱいをあげ、ごはんを食べ、オムツを替え。なにせ全部引っ越し道具として片付けた後なので、非常の持ち出しものとして最後の食事をしていたのである。ままごとのように。

引っ越し屋がまずやってきた。ピアノを除く全てのものを物干し台からそのままトラックの荷台にクレーンで降ろして行く。道案内のため小生のみがトラックの助手席に乗った。アップライトのピアノは専門業者が担う。妻が立ち会ったあと、電車とバスで向かう。何も無い庭にトラックがタイヤを埋めながら侵入し、荷物を下ろしていく。2 人くらいで全部やってくれたのではないだろうか。そのうちに赤ちゃんをおぶい、子供の手を引き、生活道具を腰に巻き付け、トラックに積み忘れた小生の背広まで首にぶら下げ、夜逃げ同然の大汗を掻

いたカミさんが到着した。裏には借家が数軒。見渡す限りの畑という風景である。向いは植木屋さんの広い借景。相模川の左岸の高台という風向は明媚ながら、大都会から最果ての田舎に引っ越した感じで辺りは真っ暗闇。2歳の娘などは別荘に来たと思ったのだろう。雨戸を閉めていると「もうおうちに帰るの？」と訊ねたりしていた。

■庭

さて、何にもない庭を見かねて、前の植木屋さんがサンゴジュをずらっと植えてくれたりして体裁が整い始めた。日よけにと、アケビの蔓棚を作ってくれたので夏の日差しには救われた。植物愛好家の義父も山から拾ってきた植栽をそこらじゅうに植え始めた。親戚からは五葉松の苗木が届き、上司からはエゾイチゴの苗木を戴き、市の記念事業で梅の苗木を貰ったり、日比谷公園での無料頒布会なども遠路足を運んで柿の苗をもらったりと。鳥たちも盛んに種を播き…。ああジャングルの兆し！

裏庭にはかなりの長い期間物置小屋があり庭仕事の道具は全部そこに置いてあった。生ごみなども全部腐葉土にするためのコンポストを置いてあったり、土壌改良には腐心したものであるが、匂いも相当なもので近所から苦情があったりしたものだ。落ち葉を燃やしても良かった時代である。庭仕事の最後は、よく燃やしていたものだ。殺虫剤も良く使った。だがここ20年はそんなことは一切せず自然に任せてあるので、かえって害虫は寄り付かなくなっている。福岡正信の「わら一本の革命」にあった”何もしない農法”の実践である。徹底的な不耕起、無肥料、無農薬、無除草で、”自然”の摂理を利用しようとするものである。ここでは雑草も有機的な作用をしているので抜かないというのが鉄則。しかし「庭」としてなら話しは別となる。適度に刈らねば見栄えが悪いと。は～～い。

今回から 10 月末までの実際の引っ越しまでの Activity を連載しよう。何をし、なにを思ったかなど。後続の人たちへの参考に。

・**棚卸しを実行**・・・家じゅうの諸物を部屋ごとに記帳し、それぞれの処理方法と、行先を明記。略号を使って、一部見積もりを行う。

M(マンション)-1・・・車ですこしずつ運ぶ、

M-2・・・引越業者、

G(ゴミ)-1・・・一般ごみ(プラ、資源、一般)

G-2・・・業者による取り外し→粗大ごみ(エアコンなど)

G-3・・・粗大ごみ持ち込み、10kg-150 円と安いので味をしめたカミさんは小生をこき使う。

G-4・・・粗大ごみ回収(箆笥やテーブルなど)、

S・・・専門業者(冬用タイヤなど)、

R・・・リサイクル

などの分類。Excel 表による。

・アルバムの整理を始める・・・CamScanner というアプリで全写真をクラウドに保存し実物は廃棄。これが山ほどもあるので晴れた日に毎日 2 冊を限度としてスマホで写真を撮っていつているのだ。写真を剥がし、いちおう家族に見せよる。記念すべきスナップは 1 枚ずつ。景色などの時は、1 ページずつカメラに収め、アルバム本体は一般ごみに捨てる。

感想・・・S55(1980)-H12(2000)くらいの間はフィルム時代であり、アルバムも多いのだ。ちょうど子供の成

長時期に合わせ膨大な記念の写真群。破り捨てるものもったいなくデジタル化したあとの写真は剥がしたが小片に破るのは気が引ける。空き缶に一時的には保管しておこう。庭の成長記録ともなっている。而して作業進まず。

・本の整理・・・週刊朝日百科(Asahi Encyclopedia)の「世界の植物」「世界の地図」など全巻揃っているものは売りに出せないか交渉・・・雑誌は古くなると見栄えが悪いというので 1 軒は断られる。美術全集なども山ほどあるので、出張引き取りを模索しよう。

・ピアノ・・・防音素材をチェックし始める。2 台をどうしよう・・・5cm くらいの厚さのボードをピアノの下に敷くと 80 ホーンが 50 ホーンになるという。ゼロとするためには防音室か？ 24 時間弾かないのでそんな必要がないのか？ 迷うところだ。

・スケッチブック 120 冊をどうするか・・・スキャンした後、どなたか引き取り手をさがそう。まさに終活となってきた。

・43 年来のカポック 2 鉢を土に戻し、容器を粗大ごみに。

・馬の縫いぐるみ・・・10 年前に死んだ猫の遊び道具として買ってきたものだそうだ。本毛ではなかったために全く興味を示さなかったと。ずっと居間に転がっていたのだ。ルーツを訊ねるとそういうことであった。ただ愛くるしいので捨てる気になれず。

・音楽の友などの音楽雑誌・・・一枚ずつ読み始めた・・・遅々として進まず。

・ZOOM で高校の仲間が、「毎週月曜日 BS 朝日で 20:00 から「ウチ断捨離しました」の番組」をやっているという。これを見ていると引っ越しの悩みが解消するかもしれない。終活と思って断捨離！

その2 2020.7.6(日) 寸法測定、1/20 模型

■相模原市・西橋本にある高層マンションの低層・10階に移り住むことにして、不動産仲介業者を通じて土地を売りに出したのは4ヵ月ほど前。不動産会社がnetに広告を出してくれており、定期的にアクセスした人数やリアクションを通知してくれていた。物件は今やnetで共有しているらしく、別の不動産会社に内緒で査定を依頼しても、「ああそこですね」と皆知っている状態でこそそ悪いことはできない。つい1ヵ月ほど前に買主が現れたらしく盛んに土地を検分に訪れ写真を撮って行くようになった。まあ3年ぐらい先の話だろうと高を括っていた我々は一夜にして怒涛の荒波に！ あるときはわずかかとほぼ強引に庭に入り込み長時間かかって見ていったりしたのだ。解体業者だったわけで気が早い。植栽などすべてを概算で見積もりを出しては「なんぼ」と不動産会社に伝えるらしい。

買主のほうは更地で渡して欲しいというのが条件で、我々が解体費用を面倒見る形となった。掘り返してゴミなど出れば値引きになってしまう。古墳など埋蔵品がある地区らしく試掘で見つければ契約は解除となるリスクを背負っている。さらに値引きなどの交渉に応じたりして雀の涙の売却となった次第である。このご時世よく買い手が見つかったものと喜ばなければならないかも。だって坂の途中にある空き家など何十年と売れないまま放置されているのだから。平地、南西角地、分筆可能土地という好条件が重なったかららしい。ただ子供たちにとっては思い出がぎっしり詰まった家屋のため寂寥感に苛(さいな)まれるのであろうか。

早速5mのメジャーを買って来て、新居といっても18年間も放置してきたマンションの部屋の大きさを図りなおし、家財の大きさを図り、詰め込む具合をチェック。ここでカミさんが登場する。縮尺20分の1のレイ

第一段階としては、写真がうまく剥がれれば、それは一旦置いておこうとは思ふ。最後には捨てるのであるが、このように余りにもゼロベースになってしまうと、将来家族に”偉人”が出たとき、「ファミリヒストリー」などの収録時に困ることはないだろうとか余計なことまでも考えてしまう。

さらに、レコードや CD の山をどうする？ 高額買い取りサイトへ画像は送っておいた。

朝日グラフからでていた「世界の植物」「世界の地図」を Book Off に持っていったが興味がないと、引き取りを拒否された。漫画本 BASARA など 90 冊は一冊 5 円で買い取ってもらえた。この日本、やはり漫画優位である。

傑作なのが、ピアノカ。家には 3 台も転がっている。子供たちの学年が近かったために「お古」を使うことには抵抗があったのだろうか。孫にも使わせることができると後生大事に置いてあったが、Line で写真を送ると、5 歳の孫は「音がでない鍵盤もあるかも！」しかも「汚い！」と言いぐさをつけて使うのを嫌がる。「もったいない」という気持ちを植え付けるのはどうしたらよいだろう。断捨離ではその「もったいない」という精神とは真逆で、全部あっさりとして捨て、要りようは後で「買う」という不経済な行為であるかもしれないのだ。難しいところである。捨てた途端、あああれがあれば！ という必要性が出てくるのではと思ひ何も捨てられない自分がいる。

粗大ごみには 2 日に一回くらいの割合で、車で持ち込みを行っている。3 回では合計 110kg くらいの荷物を捨てている。座卓やマット、プリンター、石油ストーブなどもろもろであるが、10kg150 円と安いので、車に入る限り、大いにこき使われ「執事」としては役立っているほうではないだろうか。

面白かったのはパソコン 2 台である。ハードディスクを取り出してその他はバラバラにしたので、もはやメーカー製ではなく自作パソコンのような形状になってしまった。電源や光学ディスク装置など小物を一つにまとめ

粗大ごみに。マザーボードが入った筐体だけはパソコン本体らしい面影。「自作に失敗しました」と言ってリサイクルセンターへ。タダで引き取ってもらえた。メーカー製の本体のままだったらこんなことは許されない。ややこしい手続きのあと専門工場へ持参しなくてはならなかった筈だ。

その3 2020.7.16(ホ)・・写真のデジタル化と土地測量

■ストーブは5台も捨てた。金属からプラスチックまで何でも切れるカッターが生協から届いた。小さく切れれば粗大ごみにせず一般ゴミにでも出せるというものである。腕が鳴ってきたのでさっそくテニスラケットを真っ二つに切って一般ごみに出した。その直後、あれは娘にあげるつもりであったと。ミキサーでジュースを作ろうとしたが本体が外せない。説明書は箱にあった筈だと。その箱はとっくに資源ごみに。

イスを切ろうと待ち構えるとまだこれは使えると。漫才のようなわが家。

最後が大変になるだろう。断末魔指数関数的忙殺予感。

■アルバム

問題はアルバムである。小中高の卒業アルバム、学生や社会人になってから撮りためて貼った旅行などのアルバム、両親のアルバム、結婚式の、新婚旅行の、子供たちの……。一声「アルバム」と言っても家が重みでかたぶくほどあるのだ。カミさんに聞いてみると、小中高のアルバムは棺桶まで持っていきと言いきる。小生の分はデジタル化すればそれで良いとは思っているのであるが。

カミさんのアルバムを見ていたら「1973(S48)年5月1日 パリ市内観光」という冊子があった。「雨のパリ・・・、メーデーのパリ すずらんを売っていました。」とあった。リュクサンブール公園やノートルダム寺院、コンコルド広場、カール・ゼル凱旋門、……。パックツアーに急遽潜り込んで出発したのであろうが、初めての海外旅行らしくどこか初々しい。そこで撮った写真群であろう。3日にはヴェルサイユとシャルトル大聖堂を「Paris Vision」の観光バスに乗り一人でオプションのツアーを楽しんでいる。

4日(excelで作った万年カレンダーで調べると(金曜日)である)に驚くべきことに小生が写っている。パリに

駐在中であった小生は休みでも取ったのであろう。知り合いの女性と、たまたま同室になった丸顔の女子と、パリが初めてという添乗員の男性と4人でレンタカーを駆って郊外のシャンボール城へ1日ドライブに行ったのだ。その時の写真のようである。車のナンバーは「4763YH75」でプジョーの屋根が開くタイプのセダンだったようで、100-160kmを飛ばしたと書いてあった。無謀な運転をしたのではあるまいか。城の前のカフェでスケッチしたりして和やかに過ごしたものである。お城の2階で知り合いの女性のカメラ突然が動かなくなってしまった。暗箱というものを持参していて、カメラについては専門家ハダであった。カメラの蓋をあけフィルムをセットし直したりとテキパキと作業を続行させていた。そのさなかに小生が手を出したものだからその手を「バチッ」とはたかれた。「きつっ！」と思ったことを覚えている。始終ニコニコしていた丸顔の女の子に気を掛けるようになった瞬間であった。

■後日談・・・小生のパリ赴任が1973(S48)夏に明け、羽田に帰着した。女の子の名前を知りたいと、旅行社に電話したら、担当だった添乗員に繋がった。そのときの写真を双方に送りたいのだがと言うと、彼女の連絡先と名前を教えてくれたのだ。今では考えられない。半年後には結婚しているので世の中何があるか分からないものだ。

■こういう写真も含めて断捨離できる？ 心を鬼にして、過去を捨て去るのでなければ「断捨離」とは言わないのである？

写真のデジタル化で一つ収穫があった。ずっと探していたフランスはブルターニュの西の果ての地名が、Chateaulin(シャトーラン)や Pointe de Pen-Hir(パン・イール岬)、Camaret-sur-Mer(カマレ=シユーール=メール)であった点だ。昔ここを車で旅をしたときの古い写真が出てきた。アルバムの余白に地名などが

書いたラベルが貼ってあったので Google Map や Google Earth で場所を特定し、Street View でチェックしてみた。峡谷の向こう側に灰色の屋根瓦で統一された集落が立ち上がり絵のような風景に出会えたのだ。サン=ブリューに住む camino 仲間に合う機会があったら、訪ねてみよう。

■測量

さて、15 日は「測量」が入った。土地売買の必須事項で再度図面を引くという。全体として 3 平米足りなければ、この契約は無かったことにするというのが条件であったため冷や冷やものであった。先週の仮測量でほぼ満たされているとなったため、今日はお隣さんを含めて境界線を立ち合いで認め合うという手続きを行うという。

その4 2020.7.23(ホ) ..清掃工場へ持ち込み

■終わりがなき戦いである。理由は、「天井裏」に膨大な物が隠れていたことで、Excel 表がどんどん膨れ上がっているからである。

絨毯、五月人形の屏風 2 雙。無数のアルバム、旅行カバン、子供たちのお絵かき帳・工作・絵画・もろもろ。

よってそれらを降ろしてくると、だんだん物が増えていく感じで収集がつかない。

取捨選択でカミさんとの攻防・・・会話が傑作。どうも捨てたがらない性格のようだ。

■富士山噴火？ 納戸に 2L ペットボトルが 30 本くらい入った大きな専用 box が見つかった。賞味期限が 1992 年と古いものばかりだ。当然捨てるべきと思うのだが、「富士山が噴火したらトイレの水として使えるでしょう！」という女将の声。「はーい。」

■こけし？ 茶色の大きなこけしがあった。聞くと、昔山形県で買ったもので、将来売れるものをということで友達とさんざん探し回って見つけたものであると。「はーい。」

■チョコ Q のサーキット・・・これも捨てようかと思いきや、物欲しそうな顔をする。立体サーキットで、ループになった所もあり面白そう。ただ肝心のチョコ Q が無いためサーキットを組み立てても走らせられない。孫が来るときは持ってきてもらおう。net オークションでビンテージ物のブラックエンジン搭載車を net オークションで購入してもよいのだが。ああ荷物が増える。

■大理石の板・・・46x60x1.8cm(5kg)もある重そうな石板。紅茶を作るための茶葉を揉むのに使ったり蕎麦打ちをやるときに使える台である・・・もったいない！「はーい。」

■無数の掛け軸・・・聞くまでもないだろう。「家代々の家宝だ」というに決まっている。お琴同様置いておこ

う。名古屋人は嫁入り道具が多かったのだ。

■60年前の古新聞の塊は？ ……置いてあるということはニュースバリューがあったに違いないと言う。たしかに昭和38(1963)年11月26日のは、凶弾に倒れたケネディー前大統領の葬儀にあたりジャクリーヌ未亡人に寄り添う兄弟と言う大見出し。昭和36(1961)年5月17日のは「名門出羽の再興をになう若武者」という見出しの中に「暴れまくる栃ノ海」、「足腰強し佐田の山」という記事。昭和36(1961)年11月4日のは大相撲九州場所の番付など。(因みに熱烈な相撲ファンであった)。当時は柏戸を追いかけていて相撲部屋までサインをもらいに行っている。黒い枠が入った写真を見せたら鬢髻を買ったなど。

■電動マッサージ機サンハモニ"うれっこ"(3日しか使わなかったもの?)…金魚のしっぽの揺れを再現し、腰の左右運動を10分~30分間、自動的にさせるものでスリムになるという謳い文句に飛びついたが「痩せる」という実感がせず手放して埃をかぶっていた…小生もやってみたが効能が今一つ。物凄く重たい代物だ。…即・断捨離。やっとなつ。ああ先が遠い。

■清掃工場へ…それでも捨てるものは増えていく。古いレコードアルバムなども含み、燃えるゴミが余りにも多いため、ゴミ集積場に並べて置くのは近所迷惑。そこで初めての経験として市の施設に車で運んだ。トラックが行き交う構内に恐る恐る入ってみた。車輛の計測を10kg単位に行うのは粗大ごみと同じ。2回通過すると差分が計上される。100kgまではただ。重たいアルバムを外して軽くした筈なのにちょうど100kgあり1500円取られた。失敗！ただここは、ごみ収集日以外でも持ち込めるため存在を知っただけでも成果。正月のゴミ出しもここに持っていけばよかったのである。43年間知らなかった事であるのでひとつ賢くなった。近所の人に伝えよう。

■アルバム・「産まれ立ての赤ちゃんを覗き込む長女」などという写真は可愛いものである。長じるとどうしてああも憎たらしくなるのであろうか。

この時代のカミさんも輝いていた。3人の子供を育てた女は、専業主婦ながら聡明そうな面影。こんなことならもう少し愛でておけばよかったと後悔。ピアノの稽古に来ていた近所の子供達がずいぶん写っている。一枚一枚ビニールのシートがしてあってくっつかないようにしているが、デジタル化するにあたり光が反射するため引き剥がしたりするため時間がかかる。しかもその後1枚1枚膨大な数の写真を台紙から引き剥がしていく。山ようになった写真群から当面残しておくものをえり分け、あとは破って捨てる。これを延々。ああ疲れるが、写真を見るのは楽しいものだ。天気が悪いので捗らない。

■本棚・これも各部屋で2つは転がっている。高さは180cmくらいから90cmくらいのもので種々。薄っぺらい板の安物は即破壊し始めた。小さくして粗大ごみへ。このところWeek Dayは毎日のように市の施設に運び入れている。おじさんが「これは資源ごみにできる」というものは隣にあるリサイクルセンターで預かってもらえるのだ。旅行鞆でキャスター付きは粗大ごみ、キャスター無しのバッグはリサイクルとなる。外して持っていけばよかった。逆に言うとキャスターはそれだけ壊れやすいというのが定評なのであろう。このあたりメーカーは払拭してもらいたいものだ。

その5 2020.7.29(水) ..CamScanner デジタル化

■この騒動で分かったことがある。「物を捨てたがらないカミさんと、物を捨てすぎる夫。」

例：BBQ のセットであろうか、四角い折り畳みのテーブルを当然のように捨てようとした。カミさん「これ、マンションのベランダ用に使っておいしたものヨ」と。「は～い」

「貴方、花器を全部捨てたの？ 花瓶とは違うのヨ！ 剣山を中において花を生ける器だったのに！」何と！

これは使える、あれは価値がある。と。地球儀を2つとも捨てた後で。

「ソ連という国名が書かれた貴重な地球儀だったのに！」と。

一方こちらはさっさと全部捨てている。Violin を5ケースほど捨ててしまった。小中学校から使っていた古い中に30年前まで使っていた上等なものも入っていたのに。..捨てすぎたかな。もう Viola だけで生きていこう。

Puzzle の回答書(自作)が入った箱も捨ててしまったようだ...今机にある Puzzle の解き方が分からずこの2ヵ月苦労をしているものである。もうギブアップして回答書を見ようとしたがあるべき場所がない。..捨ててしまったのだろうか？ 残念。

まあこんな調子である。五月人形、その屏風、雛祭り。実家からの家宝のお屠蘇の set。これらはどうするか？

世の中、これほど断捨離に迷うのだろうか。すべて捨て、要(い)りようは買い足すという精神で臨みたいものである。

■まあ次から次へと見たこともないような生活物資が出てくるものだ。原因は子供達にある。下宿から U ターンして去って行ったときから置いたままとなっているものが山のように。窓の下だったり、隅々に置かれている。乾燥機や台所小物類。終わりなき戦いである。ほとんど真っ新たな旅行鞆だったり。増える方向にある我が家!!

■それでも「一般ゴミ」250kg くらいとなって清掃工場への日参。ビル 3 階くらいの高さにある投棄場から奈落の底に落としていく。そのまま燃やしてしまうのである。一般ごみの中には 30cm 以内の家電製品などもあり、いっしょくに捨てるようになってきているのは厳密な意味で分別処理はされず"これも燃やすのか?"と疑問になるところである。アルバムなどは、「紙・雑誌」には分類されず「一般ごみ」として燃やされる。ここへ持ってくれば写真などが貼られたままであっても問題はない。しかし当方は一枚一枚剥がしているのであるが。

■CamScanner 写真アプリによるアルバム類のデジタル化はほぼ終了した。台形補正してくれるので助かっている。一般の写真と違い、中央に置かれた資料の枠を判定して台形を真四角に修正してくれるのだ。AI が動いている。どういう角度から撮っても中央にある資料を中心として形状を補正してくれ、画質も補正してくれる。一括して PDF 処理をすれば自分のスマホ内にも保存できる。さらにそれをパソコン外付けの HDD など書き出すこともできるので年月別に名前をつけていけば綺麗にソートされる。何千枚という写真を瞬時に閲覧できるので便利。

■親父の日記。

26 年前に他界した親父のルーズリーフ形式の日記が大事に保管されている。最後の 8 年間の詳細なハイキング日記である。達筆であるため読みづらい。マメに地図を手書きしたり切符や写真、パンフの切り抜

きを貼り付けたりと読み物としては面白く相当のボリュームがある。冊子としては毎年 1 巻、300 ページくらいある。それらも今回読み返しながらデジタル化を図ってみた。手前みそになるが驚くのはその内容である。兵庫県・宝塚に住んでいたため、六甲などを巡る阪急、阪神、京阪など私鉄 5 社のハイキングツアーや、個人企画、竜峰講の大峯登山を含めて数々のハイキングに参加しては山友を誘っていたようで、ファンも 10 人ほどいた。六甲を裏庭として、箕面、京都・奈良、ほぼ毎日のように低山を散策していたようである。そこに至るまでは会社時代に北・中央・南のアルプスの峰々を飯田市に住む元社員に連れられて踏破している。よほどの健脚であったのだろうが 60 歳後半からは低山に徹して幾度も近所のハイキングコースを歩き熟知していたようだ。道に迷ったハイカーを助けたりもしている。それらが克明に記載されているのだ。

昭和 63(1988)年親父 74 歳の日記の 12/31 の頁には実行したハイキング 129 回、距離 2702km と纏めていた。H4(1992)年の巻 8 が最後になるが、その年も 1 月 1 日からハイクを始め 14 回目となる 4 月 15 日(水)の再度山(ふたたびさん 470m)で日記が止まっている。この日も山友を誘って歩いていた。この 3 ヶ月後には病院で亡くなっている。数えて 79 歳。健脚を誇っていた親父としては残念な最期であり、もっと山登りを続けていってもらいたかったものである。実家ではお袋一人になってしまうため家を引き払って我が家に住んでもらったのだ。増築のいびつな形の離れが出来たという次第である。そのお袋も亡くなって 3 ヶ月もしないうちに 1995(H7)阪神大震災が発生した。売った家には子供連れの若い夫婦が住んでくれたが、震災には耐えてくれたようでほっとしたものだ。

さて、親父を歩く達人として小生が今学べるのは、これらの日記のなかに出てくるいろんな物語である。白山や八甲田山、釜石・花巻と遠方も訪ねており、小生が遅れてそれらを訪れたりして同じ足跡をなぞって

いたなんて偶然を発見したりした。驚くべきことに真鶴・三ツ石岬にも行っていた。東奔西走の間に、当家にも立ち寄ってくれていたのも、別のアルバムに写る親父の写真と符合する。S59(1984).5.17(水)に当家に来たときは真っ先に孫(当時 2 歳半)が迎えに飛び出してきてくれたと喜んでいる。庭が草ぼうぼうで、2 時間を要して手入れしたとも。恐れ入った。その帰りに当方の義父の家にも寄って翌日その案内で、真鶴を観光したらしく「しょうとく丸」という磯料理の割烹店で昼食を取っている。普段はひっそりと 2 人で暮らしていたので家族の歓待を受けることを喜んでいるようであった。

■八甲田山雪中行軍遭難について。

S59(1974)に両親が連れ立って青森を旅した記録があった。八甲田山雪中行軍遭難(1902 年 1 月)に触れている箇所があった。210 名中 199 名が遭難した大事件であり新田次郎が「八甲田山死の彷徨」や映画でも題材とされた。これには後日譚があるのだと。

「この遭難者達が亡霊となって青森第 5 連隊の衛門に現れだしたという。衛兵は恐怖のどん底に叩き込まれた。之を聞いた連隊長はある夜亡霊が近づいてきたので声を張り上げて怒鳴った。「雪中行軍隊の魂達よ。よく聞け。お前らの死は無駄ではなかった。お前等の死によって厳寒期の軍装は大改革されることになったぞ。お前達は戦死者と同様に扱われ靖国神社で合祀されることになったのだ。迷うな。心安らかに眠れ 二度とこの屯営に現れることはこの連隊長が許さないぞ」そして軍刀を抜いて「青森歩兵第 5 連隊廻れ右、前へ進めー」と号令を掛けた。足音は次第に遠ざかり二度と屯営に現れることはなかったという。」 こんな話が日記に満載なのである。

その6 2020.8.8(土) ..サカイ引越センターの見積もり

■今日もリサイクルへ..本、ダンボールなど山のようにあるリサイクル品は近所の集積場に置いておくには迷惑になるだろうからとせつせと工場に運び入れているのである。そこは毎週金曜日にどっと外に持ち出すらしい。衣服、本、金属などの場所が確保されていてそこに積み上げる。

■net で「引っ越し見積もり」のサイトにアクセスした途端 4000 社あると言われている日本中の引っ越し業者から一斉に電話が鳴りだした。不動産売買と違いこちらは桁外れに多いのだ。中でも大阪・堺に本社があるサカイのモットーは「10 分」以内に顧客対応するということである。翌日には見積もりに来宅した。「早割り」と「相見積もりをせず一発で決めた」という条件でかなり安い見積もりとなった。繁忙期は 3 月から 4 月という。コロナには関係しないと言っている。ダンボール箱は大小 50 箱までは無料だということで、9 月 1 日に持ってきてもらうことにした。

■スケッチ..最終的にスケッチブック 120 冊 5 千枚の絵もデジタル化しておこうと思う。CamScanner で撮影をし始めた。speed は 15 分/1 冊。合計 30 時間もかかる代物である。総じて山岳の絵が多い。懐かしいものばかりだ。全部終わったら PDF 化し、幾枚かをデジタル画像としてメルカリに出展して見よう。その実物だけを置いて全部破棄しようと思っている。2004 年以降は、だいたい絵日記 blog の原画で

あるが、それ以前の何千枚かの絵はときどきこの絵日記 blog でも振り返ってみよう。



スケッチブックの一コマ・・・PDF 化してファイル毎に整理。2004 年 3 月のスケッチ帳。

- 日記・・・お袋の日記もでてきた！ 親父の日記は PDF 処理をして、一巻のみを保存しあとは冊子をばらして資源ごみへ。納戸の奥から今度はお袋の日記もでてきた。字体が似ているようで似ていない。サインが無いので判然としないが「9」の文字を時計回りで書いているのでたぶんお袋のであろう。話しには聞いていたのだ。同じようなスタイルで共に机に向かってせっせと書いていたのであろう。親父と同じようにルーズリーフに新聞の「天声人語」から毎日全文を書き写し、別のページに天気 of 徒然を書いていたようである。昭和 60 年 8 月 13 日の日記には、「ジャンボは自動操縦なのにどうして落ちたのか？」と綴られていたりした。さらに今を思い返せば当日以降の天声人語は何を書いていたのだらうと、・・・これまた捨ててしまっから惜しくなってしまった。net で簡単には検索できないからだ。新聞社に問い合わせれば可能であろうが。
- 家宝・・・木の入れ物に茶碗セットが 5 椀など。どうも什器や掛け軸などが恭しく重箱のように木の箱に入られている物は貴重なのであろう。捨てられず、畳の部屋に積んである。最後には観念するであろうか。

その7 2020.8.14(金) ..お盆の粗大ごみ

■粗大ごみセンターはお盆の時期大変なことになっている。休みになった男性陣の力を借りて、一斉に家中のものを運び出したようで、車が長蛇の列。

おそらく2時間待ちのようなすまじい状況であったので、退散。翌日一番に行ってみたがそこでも20分待ちの状況。皆何を捨てているのであろうかと勘繰りたくなかった。我が家と変わらないのであろう。机やテーブル、本棚といったところではないだろうか。我が家みたいに油絵の額など大量に捨てる家もそうはないとみているが。昨日40kg、今日も40kgと連日捨てていき、ほぼ小物は捨て去ったのではあるまいか。あとは大量にある布団類。

孫たちのために一部をおいてあとは捨ててしまおう。

■Book Offや高額買取家具shop。単行本で新しいものには値がつくことを発見した。文庫本は二束三文。そんな法則があるようである。横から見て、くすんでいたり、焼けているものは値がつかず持ち帰るか、捨ててもらおう。CDなども含めてまめにこれをやれば結構な額になる。今後は単行本を買った場合は即、カバーをし、綺麗に読み終わった後はBook Offへ。1/10くらいの代金は戻ってくる。これを10冊繰り返せば、帰りは回転寿司に行こう。折り畳みの本棚。これは便利だ。安物はペコペコしているが、高いものは木が上等で重たい。これは売れるのだ。そのつもりで家具などは買うべし。

■スケッチブック120冊のデジタル化に没頭している。何処へも行かない代わりに、スケッチ上で色んな所に再度旅をさせてくれているようで楽しい作業となっている。中には画用紙1枚に表裏2面、上下2つと4つの絵を描くなど節約志向で描いたbookもあり、4冊分の分量で膨大な作業である。

中津川時代には市内を始め、名古屋までの中央線沿線、伊勢、下呂、高山、白川郷、北・中・南アルプス、中央道沿線の風景など鬼のように描いてきておりその全てが懐かしい。アパートから見た景色や、中山道の宿場町など、木曽川の新緑や、御嶽山の紅葉など風景画が多い。駒ヶ根池から中央アルプスの宝剣岳というように同じ場所からの春夏秋冬の移ろいもスケッチから伺える。なにせ昔は絵日記 blog を書くために「旅」をしていたわけで本末転倒もよいところであった。家人から雲でも描いたらといわれるくらいに出かけていたわけである。不要不急の外出が、すべてスケッチのための外出だったわけで心苦しい。

よって 1 回出たら"もとを取る"ような気分で 1 日 10 枚くらいも鬼のように描いた時代もありスケッチブックに記載した日付がずっと同じであるという絵も多い。有名どころは場所の特定ができるのであるが何も記載していないスケッチもある。昔は Google Earth から読み解いた経緯を併記させていたので blog からスケッチ場所を特定させることができる。例えば、スケッチブック名「2011.9.14-10.30」の 20 枚目の画像は 2011 年 9 月 25 日に描いた東京競馬場の絵であるが、10 月 3 日の「絵日記 blog」に登場する。<https://plaza.rakuten.co.jp/turbo717/diary/201110030000/> GPS は「35.664950,139.488058(°) (35°39'53.82" N,139°29'17.01" E) 」で、標高 48m で絵を描いた方角は 248°、時間は pm1:30 と記されている。

このような調子で blog が存在する期間であれば、だいたい絵日記 blog に順番に登場するため、日毎に追っていけば詳細が分かる。CamScanner 上では、絵一枚一枚にメモを付すことができるので、blog にある絵の注釈をコピペで書き写しておけばよからうと。



この絵の場合は、モアサックの運河で、GPS は (sketch, direction 120°pm1:41(2012.8.13))

Sketch point : canal,Port de Plaisance, Maissac, FranceGPS

44.100206,1.090783(44°6'0.74" N,1°5'26.82 E) 標高 70m とあるので、メモに書き写すことができる。

楽しい筈の CamScanner アプリによる撮影作業は最近苦戦。38°Cともなる過酷な 2 階のわが住まいを退散し、冷房を入れて 27°C 以下にしている 1 階のカミさんの空間を利用して貰っている。ここは快適であるが時々奏でるピアノの音がうるさいのが欠点。上は裸で過ごせるが、こちらは一応服を羽織っておく。一冊 20 分として 3 冊もやれば疲れ果てるので、他の事をして気分を一新。再度チャレンジという具合にずっとかかりきりなのである。気に入ったスケッチはあとで剥がして手元に置いておこう。まあ全部捨てても良いのであるが、だれか欲しいという方がいればあげようとも思っている。PDF を web で公開してもよいかなあと思ったり。まああと 2,3 日でデジタル化が終了するのでじっくり考えよう。老後の楽しみができたというものである。

■創作とゴミ・・・スケッチに限らず、趣味で陶芸をやったり彫刻をしたりする人も多い。危惧するのは、創作で日々生み出される"ゴミ"はどのように考えればよいのだろうか。絵と同じく創っている最中が最も楽しく、創り終わった瞬間、朽ちていくのではないだろうか。だって何時かは捨てられる運命にあるものをせっせと日々創作しているわけで、頂点は出来上がった瞬間である。それが嫌なら、いつも少しずつ手を加え、仕上げを延ばすことである。油絵など最後まで絵筆を加え、タッチを変えて行き名残惜しく見続ける。値段が付くまで抱えているのがプロで、アマチュアというのはその過程そのものが高揚の賜物で価値があり、創り終えた最後、人に呉れてあげるべきものかも知れない。デジタルというオンラインの bit 単位の薄っぺらい価値以外は、価値がないとみるべきであろう。素人の陶芸家や彫刻家は出来上がった瞬間作品をぶち壊してしまつてよいのかもしれない。あとで家人が困らないように。

その8 2020.8.22(土) ..スケッチブックの処理、種貨ザクザク

■今日も強力粉の沢山ある袋の下部から棒が2本でてきた。当然ゴミ箱に。しかし一応カミさんにお伺いを立てとこうと聞くと、1本は麺棒であり、1本は腰や肩のツボを刺激する道具であった。何十年も使っていないものは捨ててもよい筈。しかし今まで隠れていたものは、その対象ではないらしい。真っ新の鉛筆ケースや蛍光ペンなども。これらはそのまま使えるわけで、なかなか断捨離も難しいものだ。聞くと置いておけとなるので聞かない方がよい。

「壁に掛けてあった、アイヌのピリカメノコの彫刻はどうした?」と聞いてきた。とっくに捨てている。ほれみたことか、今後は何も聞かず捨てていこう。あるいは、最後の手段としては全部マンションに持っていき、仕舞うところが無いと分かった時点で捨てるようにすれば万事問題はない筈だ。それが事前に計算できるので捨てているのであるが・・・。

■スケッチブック このデジタル化に取り組んで早や3w。漸く完了した。CamScanner というクラウドアプリに取り込んだスケッチ画は Total 5300 枚。よくもこれだけせっせと描いたものである。大半が山岳スケッチで北・中・南、ヨーロッパの各アルプスの山岳スケッチとなっている。劔岳なども登山の合間にスケッチを楽しんでいた状況であった。登山がメインなのか、スケッチがメインなのかよく分からない。巡礼や登山旅行以外のスケッチブックは全部捨てることにした。ただ捨てる中から好きな絵は1,2枚抜いておいた。合計200枚くらい。現物が残ったことになり Web で閲覧できる。その中から欲しいものがあれば誰かに上げたい。9月にある府中大國魂神社の行燈祭りに使う奉納画は、オケの合奏スケッチを元にして墨汁で描きなおそうと思っている。

2004年以降のスケッチは絵日記 blog の原画となっているものが大半で、blog に若干の説明がつけてあ

る。その日付をリファレンスできればよからうかと。最終整備までは時間がかかるが、スケッチ、写真、日記など Total 9000 点は、すべて PDF 化してすでにパソコンに取り込まれている。



劔岳山頂より南側。(CamScanner に取り込んだ画面より)

■日記 1976-78(S51-53)のカミさんの子育て日記も出てきた。ちょうど長女が1歳から3歳の間の日記で、最後のほうでは長男も生まれた期間の日記。毎日でなく、時々に記載してあった。それもデジタル化はしておいた。これを読み返してみた。あかちゃんが喋りはじめた言葉が色々と綴られていて面白い。お片付けが下手でよく母親から怒られており、おもちゃを全部捨てた時の子供とのやり取りも書いてあった。クマがいなくなったので悲しそうな顔になったと。ゴミ箱から救ってあげたあとは、そのような記述がないのであとはちゃんと片付けられたのではないだろうか。

そこで思い出した。親戚の家に泊まりに行った時である。長女が「いまからママになる、お父さんは私になって。」というので安請け合いをしたばかりに大変なことになった。態度が豹変し、目は吊り上がり怖い顔にな

って「ちゃんとしなさい！」と怒鳴り始めたのである。日頃のうっ憤を小生に晴らそうとしたわけであるほどそのように叱られていたのだなあとつくづく感心したものだ。

■汗・・・こちらは午前 5 時から作業をしているので、常に汗びっしょりである。カミさん「あなた 汗臭いわよ。」と。碌なことを言わないものだ。

ウェットティッシュでラベンダーの香りがするものがあまり使われなく置いてあった。こういう時こそ利用すべきものである。

こんどは「貴方、シャツのボタン段違いになっていない？」 続いて碌なことを言わないものだ。朝から稗突きバツタのように忙しくしておるのだ。8:00 にプファーと起きてくる女とは違うのだ。以降はボタンのない T シャツとした。

■硬貨・・・小銭が部屋の方々から出てきて計ったら 5kg もあった。10 円玉など 500 枚以上。重たいわけである。6 種類の硬貨(1、5、10、50、100、500 円)の両替をどうするか？ 知人は ATM がよいであろうと。空いている時間帯を見計らって何回か足を運べば入金は完了する。しかし次の人が使えるようになるためには機械の残務処理で時間がかかるようである。

手数料が要らない最良の手は、郵貯である。通帳と印鑑を持っていけば手数料ゼロで入金してくれる。災害時には小銭が必要になるので一握りの硬貨は置いておくのが得策。100,500 円もまだまだ使い勝手はよい、今回は一握り以外の 1,5,10,50 の 4 種類の硬貨を入金してきた。

1 円玉 622 枚、5 円玉 199 枚、10 円玉 511 枚、50 円玉 22 枚の Total 7,827 円。余りにも重たかったんで 1,2 万円はあると思ったのに残念！

タイムカプセルとして 1969 年から 2001 年までを置くとしていた貯金箱も缶切りで開けてみた。びっくり。今度は古銭がワサワサと出てきた。5 円玉や 50 円玉で穴が開いてないものとか、100 円玉で裏が稲のデザインになったこれらは net では、「穴無し 5 円黄銅貨 昭和 24 年」で 340-560 円、「菊穴無し 50 円ニッケル貨 昭和 31 年」で 240-360 円、「稲穂 100 円銀貨 昭和 34 年」で 528 円、プルーフ 500 円白銅貨 昭和 63 年で、2200 円の値がついている。どれも"美品"や"未使用"といった値打ち物に限られるが。

■過去の記録・・・20 年前に NY からの封書が届いていたらしい。片付けの中から出てきたと。

1999 年の NY シティーマラソンの結果票である。差出人は New York Road Runners Club, Inc. となっており 2000 年に開催予定の次の NYC マラソンの勧誘ともなっていた。近畿日本ツーリストに枠があるので申し込みと。これは抽選ではなく、旅行業者に何人分かの割り当てが行くのでそこから申し込みと言うことだったらしい。当時は 5 年ごとに NYC を走っていたので、翌年ということはなかった。記載された記録は、3 時間 16 分 24 秒、Net Finish Time は 3 時間 16 分 04 秒となっていた。10km のタイムが 42 分 01 秒。

皇居 5km のペースに換算すると 21 分となる。10km くらいだと 38 分で走っていたので大した記録ではない。それから 3w 後に筑波で走ったフルマラソンでは 3 時間ジャストで、2 時間台にはなれなかった悔しい思い出がある。当時は 55 歳だったわけで、今の山中伸弥教授(8/22 現在 57 歳)とはよい勝負だったのだろう。大学へ転進する予定だった話が途中で立ち消えとなり行先がなく泣いていた時期である。ただこ

のマラソンのあと、話が進みだし、結局大学教授として迎えるという大逆転で、会社を退社している。この
NYC マラソン出場が人生を変える契機となったと考えている。その記録であるので大事に取っておこう。

その9 2020.8.29(土) ..Book Off

■CamScanner というクラウドソフトを使用したスケッチ類や写真類のデジタル化作業が終了した。その後納戸から新たに山ほどの小冊子が出てきたために 800 枚ほどの写真を追加し、合計 1 万枚くらいとなった。アルバムでは残っているものはせいぜい 2000 年までで、あとはデジカメが優勢になり焼き付けてアウトプットを出すということが無くなったために紙ベースの写真自身が激減している。デジカメやパソコンのメモリに埋もれてしまっているようだ。

惜しいことである。これらも見易いようにデジタルアルバムという形で纏めておくとよいかもしれない。

傑作なのが、猫の成長と家のリフォーム。前の猫「ジュン太」がどこかへ居なくなったあと、カミさんが近所をうろつくお腹の大きな猫に的を絞り注視していたのだそうだ。これとは別に近所から子猫が産まれたという情報があり 2 匹をもらってきた。じゃれあって可愛いかったのであるが、たまたま親戚にも猫が欲しいという話があり、兄弟のうち顔の白い方をわが方に(2009 年まで生きた「健太」)、もう一方をその親戚にあげて育てたのだ。その最初の 1 年の成長がアルバムとして残っていた。デジタル化すると、その変遷がマウスのスクロールでサワサワと分かるので面白い。

家の改造ではよくぞ子細に撮ったものだと思うほど写真が残っていた。カミさんがいかに”建築”に興味を持っていたかがよく分かる。すこし広くなったり、母親の別室が空いたりした機会に、英・米からの学生がホームステイして、部屋を有効に使っていたようだ。皆、和服姿の写真が残っておりカミさんが隣で豆粒のように写っている。この女性達から教わったことは、トイレが使われていない場合はドアを少し開けておくという習慣である。ノックする必要がないのだ。今は緑の点灯などで on/off が分かる仕組みがあるが、なかなか合理的な仕組みで感心したものだ。以来我が家ではトイレは開けっ放しとなっている。

■レイアウト・・・7LDK といういびつで変則的な家からウサギ小屋の 3LDK への引っ越し。マンションの方ではいろいろ事情があり、部屋が少し自由に広く使えるようになった。当初 2LDK への引っ越しという条件で考えていたものが広がったわけだ。そこでブーメランのような形をした勉強机を組み立てて使おうとレイアウトを立て直した。120 度に途中で折れ曲がった長さ 160cm もあるテーブルである。これだと 2 画面パソコンやスケッチの図面を広げることができる。ピアノ室に押し込もうとしていた家具も分散させる。1/20 の縮尺で作った家具のレイアウトをあーでもない、こうでもないとまたやり直した。その中で、ベッドを 2 つ並べるといふ驚異的なアイデアも飛び出したが、やはり寝室は別にしてパーソナリティーを保ちたいと前の案に戻す。小さな仏壇(54x40x120)をどうするか？ 粗大ゴミで捨てる場合は一応拝まなければならないのだろうか。先祖に怒られるのではないかと逡巡。

ピアノは全部の部屋のど真ん中。隣人とは壁で接しない部屋に押し込める予定であるが、防音施工を事前にやらなくてはならない。材料の取得には 2W かかるのでそろそろ確定させなければならない。オケでピアノを持っている人達に聞きまわっているが、マンションでは「防音室」というのが決まりのようでこれだと何百万もかかる。そこを数万円で済ませられないかというのが”私と結婚したばかりに節約家になってしまった”カミさんの浅はかな考えである。要するにいかに吾輩を扱き使って安上がりにできないかということをか考えているのである。

■BookOff・・・通ってみるものである。CD や本を持ち込むたびに、2 千円、3 千円と get している。おもちゃなども綺麗なものであれば売れそう。ダメもとでもこういうところに運ぶのが得策か。帰りに回転ずしというのがお決まりのコース。

■挨拶・隣接する3軒は測量で立ち会ってもらっているので話はしている。だがそれ以外はまだ何も話せていない。突然「引っ越します」では都合が悪かろう。家をそのまま使ってくれると嬉しいのであるが、不動産業界では更地にしての建売が最も儲かるらしいのだ。勿体ないという気持ちは毛頭ないのが問題。景色が変わってしまうため、影響は近所中に及ぶ。さて誰から話すべきか？ 生協で共同購入している人に喋れば、あつと言う間に広まるであろう。9月1日にしよう。子供のママ友が近くに住んでいる。先週、お茶会をしてその話をしておいた。ここからも近々広まっていくであろう。いろいろ譲りたいものもでてくるのでガレージセールでもやろうか。タダで持っていけ！と。もったいない精神である。

■最後の晚餐・子供たちの成長をしていった家なので、我々より思い入れが濃い筈。そこで最後に集まってお別れ会をしてはどうかという話が持ち上がった。変遷をスライドショーで映してみようかしら。何もなかった庭からジャングルになるまでなど。また忙しくなる。

その10 2020.9.5(土) ..ピアノ室の吸音材

■ダンボール set など準備品が 9/1 に届いた。食器などは 1/3 にしなくてはならないのに、殆ど捨てられていない。どうする・・・!

■ピアノ室の吸音・防音・・・経堂までテスト室を見に行った。「一次的」と営業は言う。吸音素材は厚さ 5cm など素材に全体でゴムで浮かす工事をするという。

換気扇から、壁から、音は伝わり、外に逃げていく。どんな工事しても弱い部分に音が集まりそこから伝搬していこうとするものだ。

この営業マン「一次的」を強調する。部屋の中に部屋を造るというのが究極のシステムらしいのだ。

それ以外は「ピアノを弾いています。」ということになるくらいの”音”は漏れるというのだ。

こちらは、プロのピアニストではなく、趣味程度で午後 9 時以降は音をださず、出してもそんな長い時間ではなく、ガンガンと鳴らすリストの曲は嫌いと言って弾かない人向けの”吸音装置”を希望した。営業マン「一次的工事」ということで完ぺきではないという、あくまでも防音室を売りたいのだ。

防音室内では弾いている人が快適に聞こえるように「調音装置」もあるという。大きな会議室仕様や、何台もピアノが置けるような音楽室も販売している。吸音装置にしろ、すべて受注生産で入荷に 1 ヶ月かかるという。吸音装置だけでも相当大きな部材になるため運び入れが出来るか部屋を見せて欲しいという。大がかりなものとなった。もし防音室を設置するとなると家具が置けなくなるため減らすかレイアウトを変更せざるを得ない。

階下のうちは我が家と同じ間取り + 1 部屋多く、売り出し時期が遅く買えなかった部屋の方である。どんなご家族が住んでおられるのであろうか。直下の部屋が、寝たきり老人であったり、音に敏感な人ではないだろうかとか。こんど菓子折りをもって挨拶にいかがしら。

■9/5 から 10/22 まであと 48 日。さておなる？

その11 2020.9.12(土) ..「家の43年」の歴史をPowerPointに

■写真やスケッチや日記の類はだいたい CamScanner というクラウドソフトを利用してデジタル化は終了した。アルバム毎に年代別に名前を付けてあるため作成順が前後しても、ソートされ綺麗に並ぶ。pdf化すると画質は悪くはなるが一応パソコンの外付け HDD に全部保存できている。老後に過去を振り返る重要なアルバム以外は全部捨てた。「最後の晩餐会」をしようではないかと子供たちが言い出したので、「家の43年」の歴史を PowerPoint で作成してみた。各年代で 2,3 枚くらいの写真を選び並べただけである。子供の成長記録というより家の構造変化の歴史で、リフォームの前後がよくわかるように作ってみた。これも膨大な写真集から選んでみた。ソートされた pdf ファイルから選んでいくというものでコンピュータ上で探せるので操作は早い。

娘がまだ 1 歳のころ国立市から我が家となる土地を見に行ったときの写真から start である。庭の芝生でプールを組み立て泳いでいる写真など。背景がだんだんジャングルになって行く様子がわかる。

3 匹目の猫が子猫でやってきた。双子の猫が写っている写真など貴重品である。そのうちの一匹は親戚に貰われていきともに 10 年以上過ごした。いつか 2 匹でお見合いをした時があったがお互いに双子であることを認識せずそっぽを向いていたり。



奥のほうが「健太」。我が家ではカミさんになつた。1999-2009。

さて、面白おかしく音楽を付けたり画面切り替えの set をしたりと努力したが、パソコンがなくても映せるスタイルのほうがプロジェクターを set しやすい。USB を差せば jpeg 画像を探し出しスライドショーをやってくれる。さてせっかく作った PowerPoint の各シートには年代が分かるように文字が挿入されたり、別の画像を挿入したりと手が加わっている。このスライドを 1 枚 1 枚の Jpeg 画像に戻す方法はないのか？

いや便利な機能が PowerPoint には備わっていた。通常の「保存」で形式を「jpeg」にすれば、各シートを 1 枚 1 枚 Jpeg 画像にしてくれる機能があったのだ。挿入した文字ともどもそのままの形で。これにすればプロジェクターでそのまま扱えるか？

いやすこし違った。001 などと自動的に番号がついていくのであるが、「001-スライド」などと日本語が入ると、プロジェクターのほうで焦るようで PowerPoint のスライド順に映さないのだ。そこで面倒であるが、再度番号を変更し数字だけのファイル名としてみた。そうすればスライドが前後することなく年代順に綺麗にな

らんで映像として映し出された。当日はこれをプレゼンする。pdfとして各自に Line で送っておこう。プレゼントである。

■処理が宙に浮いているもの・アップライトピアノ(調律済み、上物で音は良い)、アコーディオン、和ダンス、仏壇・・。ピアノは送料(5万円程度)をご負担して下さるならお譲りします。下記 HP のトップページの「ここ」をクリック。メール先が載っていますので一報ください。仏壇は、粗大ゴミへ？ 祖先に叱られはしまいか？

■三面鏡・・これも粗大ゴミに！ OffHouse(オフハウス)に組み立て式本棚(200円)、ガラステーブル(50円)を持っていったが只同然の価格であった。もっと高い値を付けられるお店はなかったものだろうか。安価な家具を売る倉庫仕立ての店は、もともとメーカーから安く仕入れてきた新品らしく、使い古したもののなんか何の価値もないものだろうか？ 断捨離も欲張ることは難しい。メルカリなんて言うのも結局使っていないものとか貰いものとか「新品」が市場に出回るのだ。

この鏡等身大の大きさがあった。小生の寝間に立てかけたまま 43 年、レオナルド・ダ・ヴィンチの描いた、手を広げて立つ「ウィトルウィウスの人体図(1485)」を真似して鏡に照らしてきたものである。凜々しい姿になるようにと見つめてきたがそれも卒業だ。今後は自己管理である。

■家がどんどん広がっていく・・ものを片付け家具がなくなっていくのに応じて部屋がどんどん広がっていく。引っ越すのが惜しくなっていく瞬間である。カミさんがラジオ体操なるものを続けているせいで、こちらも OJT として雑巾がけを全室同時刻にするようになっている。次第にピカピカになっていく我が家。こんな風だったのかと写真を撮ったり。なぜ今の今までこのような生活をしなかったのかと自問する。

そもそもなぜ引っ越さなければならなかったのか？借金に追われて夜逃げ同然ということだろう。2 軒の家を維持するのはしんどいというより諸経費が 1/2 になる魅力に憑りつかれて…。ただここは残念ながら駅から遠すぎた。日曜など 21 時にはバスが無くなってしまふ、アッシー嬢も高齢で車を手放すという。そんなこんなで一念発起したのだが、自然環境抜群の我が家を捨てる代償は余りにも大きい。秋に集(すだ)く虫の音や木に熟した実を啄む小鳥の声も聞けないような高層マンションのどこが良いのだと。

パソコンの周りだけが雑然としたままである。まずここを何とかせねば。

■研究・・・ピアノの遮音についてカミさん、いろいろと研究している。論文でも発表してもらいたいくらいだ。

高層マンションは全体を軽くするための工法があつて、隣家との上下左右の壁に空間があり「L45」のタイプで遮音効果が高いという。

床に直接響く第一音の音響を減衰させれば ok のはずと。”浮き床式の遮音板”をピアノの大きさ分に敷くのみの工事を依頼した。

居室の前面にはビルなどなく丹沢山系が見渡せる。ベランダは 40 平米もあり広い。弾く部屋は家のど真ん中で隣近所とは接していないなどの条件下であるが。今、来週のパiano発表のための練習に余念がない。

ふと考えた。カミさん、進取の精神で自分の人生を切り拓いていっているのではないかと。新居のレイアウト案では小生の部屋は混みすぎるといった点に憐みを覚えベッドをカミさんの部屋に持って行く恐るべき案が飛び出した。静かに寝ていたこの 43 年、ああこれから地獄となるのであろうか。または家具の隙間で布団でも敷いていじけて寝るか？ 勇気を出して同室に？

その12 2020.9.19(土) ..処理が留に絡りてゐるもの

■周囲が次第に寂しくなりだした・・鏡台、整理棚を廃棄したりしているうちに2階の各居間が空いてきた。

あとは小生の牙城のみである。敵が攻め入って来ているのに籠城のように物が積み上がっているのだ。スケッチ道具に、辞書に、山のような紙とボールペン。blogを書くための諸道具で溢れかえっているのだ。近々孫たちがやってくる。1人は土曜日のお泊りで、2人は日曜日のお泊りである。子供目線でチェックするであらうから、もっとすっきりさせておかないといけない。そこで小物をどんどん捨てて行っているのであるが。

一番怖いのが小さい方の孫である。いつか爪先立ちで家に上がってきた。もっと綺麗にしろと。恐らく子供の目線に埃が目立ったのだろう。最近では徹底的に雑巾がけをしているのであるが、少しのゴミも許さないようにピカピカしておくのも、この孫の目線が気になるからである。まあ良いことだと感謝せねばならない。来てくれる家族が居るからこそすべてが綺麗になっていくのであるから。

■粗大ゴミでも車で運べない大物は、市に依頼して取りに来てもらう。それを何時にするのか。引っ越し日によって前後3日くらいをシミュレーションし始めた。当日の朝まで使用するものを除きすべて廃棄しておきたいが。食卓やいす類。前の日まで使っていた書斎机。これらは、引っ越し対象ではなく残留物となり、翌日などに運び出す。

細かいのは、冷蔵庫の中身をどうするか。当日朝までに食べるものは冷蔵庫。その他は一旦新居に移動し、小型の冷蔵庫に仮置き。

なにせ、今回の引っ越しでややこしいのは、別の家人も玉突き引っ越しをするのでそのときこの家から追い

はぎのように持ち出すものがあり、また全部は引っ越し道具とはならず、廃棄するものもあり、売るものもあり、種別が複雑である。

さりとて、種々の引き出しから未整理なものがまだまだ出てくる有様。子供用のお琴の爪がでてきた。孫が来たときお琴を弾いてもらうためには必要。カミさんが言い出した「今東光の色紙まだ出てこない?」と。学生時代に選挙事務所でアルバイトをしたとき貰ったという。恐らくまだチェックしていない和筆筒あたりからでてくるのであろうか。

■処理が宙に浮いているもの・アップライトピアノ(誰か貰ってくれませんか?)、五月人形(鎧兜、衝立類)、雛飾り(段飾り、衝立類)、金太郎人形・子供の成長に合わせ買いそろえたものであるが押入れのかなりの部分を占有している。捨てたがらないカミさんの決断に負うところか? 小さな仏壇は粗大ごみに? 神棚は対象外だという。では神社に? 自家製パン焼き器も世代交代である。「set20分後のイースト菌自動振り落とし機能不良」+「仕上がり後壁面へばりつき現象」でつい買い替えた。パン焼き機はどんなに小さくても粗大ゴミだという。

■次女の文集が4冊出てきた。捨てようと読みだしたら小1から小4までの変化が見れてなかなか面白い。こういうのは次女用にとっておいてあげよう。

その13 2020.9.26(土)・スウェーデン製 Innovator の家具

■子供たちの諸物・・・5月人形や顕微鏡や、縫いぐるみ、アルバムなどは、捨てるのも良いという承諾を得て晴れて処分の俎上に。ガンダムなどの機動戦士ものは BookOff へ。パーツが揃っていれば割と良い値段で買い取ってもらえる。レゴやプラレールは部品の互換性が高いので、高値の筈。しかしまだこれで遊べるので「置いておけ」とのご指示。

■家人の玉つき引っ越しが始まった。カミさんが使っていたベッドなども追いはぎのごとく掠め取られた。かわいそうにカミさんの寝る場所がなくなった。・・と思いきや。いつぞや、ソファーに沈み込んでいたために家中探したというそのソファーで寝るといふ。すっぽり収まって心地よさそうに寝ている。電子レンジまでも持って行こうとしたが、まだ1カ月は使わねばならない。新しいのを買ってプレゼントしておいた。

■24年も前にお袋が住んでいた中二階の「松の間」を整理していると、お袋の古着が沢山でてきた。まったく開けていない衣類のケースからお袋の匂いが微かにした。仏壇も近くにあったので、おそらくここに長年住み続けていたのではないかと考えた。有難いことではないか。カミさんがそれらに守られていたのではないかも思えた。(後日談・・・お袋のものと思いつつ捨てた”古着”は実はカミさんのであった。「あれどうしたのか？」と聞かれて発覚。)

■スウェーデン製 Innovator の家具で、ブーメラン型本棚&机が分解して長年置かれていたものを組み立ててみた。

一切の説明書はなく、部品だけで超難解。以前使っていた娘にポンチ絵を書いてもらっていてそれを参考

に組み立ててみた。とにかく全面に穴が開いているので、前後、天地どう置けばよいのか皆目見当がつかない。使った形跡のあるねじ穴の位置を頼りに天地を入れ替えたりして漸く組み上がった。カミさんのベッドが置かれていた場所で作業をしたのであるが、とにかくどの部材も重たくて 1 人では無理ではないかと。

■書斎引っ越し・・「松の間」という中二階でデスクが組み上がった機会に書斎機能を引っ越した。3Wしかないが、仮の住まいとして活用しよう。前日これら一式を、また解体をして梱包をしなければならないが。



ブーメラン型机は脚 3 本のステンレス足と本棚の木枠で支えている。

■エアコン・・全室外さねばならないので家電量販店へ相談に行った。リサイクル費用を合わせ、エアコンが 1 台買えるくらいの値段となった。

■引っ越し対象以外の粗大ごみ・・家の外に運び出す作業をしないといけない。シルバーセンターに電話

すると 75 歳以上の方が働く現場なので重たいものは無理であると。草取りくらいの軽い仕事ですと。net

には何でもやれそうなことを書いているが。話しになりませぬ。

引っ越し業者が玄関の外には運び出してくれるサービスをしてくれるという。一旦駐車場スペースに積んでおいて、あとは市に引き取ってもらおう。

■手順・・・10/22(木)引っ越し→JCOM 回線の回収と設置→エアコン取り外し→家具などの粗大ゴミ引き取り→大掃除→資源・一般・プラの分別→自転車などの最終粗大ごみ　こんな手順となるのではないか。ついでに洗濯機を買い替えた。古い家に一旦設置し、これも引っ越し荷物に加える。マンションの排水周りとはとくに注意をしなければならないため業者に設置を依頼予定(洗濯機の取り付け時に良く学習をしておこう。)

その14 2020.10.3(土)・・パラボラアンテナ

■失敗 1・・パラボラアンテナを資源ゴミに！ インターネットや TV は、JCOM の回線を使っている。光回線に繋がった STB(セット・トップ・ボックス)という名のチューナーを経由して日頃は TV を楽しんでいるので、もはやパラボラアンテナは必要ないだろうと、重いパラボラを外し、何故か 3 本もあった同軸ケーブルもニッパーで切り離し、支柱などをバラバラにして”金属”としての「資源ゴミ」に纏めたのだ。衛星放送が開始された年(1989)に、早くもパラボラを購入し、春分や秋分の時の太陽の正午の位置におわんの向きを微調整したのはもう 30 年も前になる。古びたものが 2 階の手摺に固定されていたのだ。その無用の長物がやっと外せたのだ。意気揚々として階下に降りてきたものだ。

しかし、しかし BS 放送が見られなくなってしまった。CATV の光ケーブルには、地上波デジタル、BS、CS1、CS2 全部乗っかっている筈である。STB がそれに対応していなかったようである。Video レコーダー、STB、TV の間には複雑怪奇な配線の山があった。これを辿るとどうもパラボラアンテナ→Video レコーダー→BS 信号→TV、CATV 光ケーブル→STB→地上デジタル信号→TV と 2 系列があり、前者は STB を経由していない！ この他は Video レコーダーと TV の録画/視聴のコード群であった。このためパラボラアンテナを取り外してしまったため、BS 放送が見られなくなってしまったようである。早まったことをしでかしたものだ。さりとて、一旦外したパラボラを再度取り付ける気力はもう残ってはいない。3W ほど BS が観られませんとカミさんに謝っておいた。

翌日、JCOM に電話したがコロナ禍でつながらない。Line で技術者対応してもらった。ものすごく応答が早い。実際は AI がやっているのであろうか。hint はここから得られた。STB には、白・赤・黄色ケーブルの出力端子があり、TV にも、白・赤・黄色ケーブルの入力端子「4」があった。ダメもとでも繋いでみた。STB

側で、BS1 であれば、「101」、BS プレミアムであれば「103」というチャンネルを設定してみた。TV リモコンで、入力切り替え→「4」などとしてみたら画質は悪いが BS 放送が映ったのだ。STB がもうすこし高級なものになれば白・赤・黄色ケーブルを使わず同軸ケーブルを使うため画質は落ちない筈である。

■失敗 2・・・ああ、なんということだ。寝袋が 3 つほどあったのでまだ一つある筈だと思って、捨ててしまったのが最後のシュラフであった。黒一色ながら圧縮装置がついてより小さくなったもので、見かけはみすばらしく映ったシュラフである。侮ってしまったのだ。Violin につぐ失敗である。置いておけばよかったものを。中身の寝袋はダウンの最上級品である。ヨーロッパ縦断 6700km の後半の旅のため新調したものである。まだ 4 年しか使っていない。2018 年には北アルプス・薬師岳の薬師峠キャンプ場で台風 20 号の風速 50m に遭遇した時のシュラフで、これに助けられた思い出の品である。ああなんてことだ。誰か”お古”があれば下さい。

■衣類・・・ついに古着に手を染め始めた。タンズ、クローゼット、衣装ケースなどもろもろに加え、毛布なども合わせ資源ごみになるものを市の資源ごみセンターに持ち込んだ。45L の袋 25 包み。ものすごい量である。納戸の奥、下 あらゆるところから出てくるわ、出てくるわ。

積み過ぎたので、車で運ぶと、リアミラーが見えなくなってしまった。一方粗大ゴミのほうは駆け込み需要。

10/1 から処理代が値上がりする。10kg 単位の 150 円だったものが 190 円と 40 円値上がりするのだ。

みんな現金なものである。粗大ごみセンターは駆け込み需要で長蛇の列になっていた。

■悲しい・・・カナダ旅行用の防寒服やジーンズのズボンが出てきた。カミさんのお古である。捨てようとするので貰っておくことにした。

泣けてくるではないか。ズボンは青い色が鮮やかで新品同様。腰バンドはなくゴムになっているので履きやす

いが、裾が長く床に擦れる。裾の部分を折り返して使ってみることにした。恐らく布の大半が敵のお尻でひかかっていたものが、小生が履くとスルーされ、下方に流れたため裾が長くなったのであろう。防寒服はこれまたブカブカである。もう少し厚着をすれば似合うであろうか。

その15 2020.10.10(土)の引っ越しのシナリオ

■10月22日(木)の引っ越しまで2wを切ったのにまだピアノが子供達の分3台も転がっている。

■食堂のイスや居間の藤イスが一つずつ消えていく。車で粗大ごみに出しているからである。最終的には3つほどを残すすべて処分。次第に家の中外が、空いてくる。

■庭の脚立、玄関のドアストッパーとして長年使っていた一輪車など廃棄。高枝用剪定鋏は近所の人へ。

■アップライトピアノなどはついに引き取り手が出てこないため一旦マンションに運び込むことにした。床暖なので、2cm厚くらいの吸音板を敷く。

■引っ越し前日あたりからのシナリオがややこしい。食事は外食に切り替える。各自は最重要物件を管理。小生はリュックに纏める。食器類、什器、調味料、冷蔵庫などもろもろを梱包か、前夜移送。コンピュータをばらし本体は前夜移送。残りは梱包。カーテン類は前夜全て外し、資源ごみ袋に纏める。照明器具は天井から外し一部一般ごみ、一部梱包。時計類は全て外し、一般ごみ、一部梱包。Violaは持ち運び(済み)。植木鉢は前夜移送。

当日・・・4時起床。寝具類は一部粗大ごみ(布団)、一部資源ごみ(布団カバーなど)、一部一般ごみ(枕、綿入りのタオルケットなど)、残り梱包。タオル類、衣類は梱包。

8時業者到着。作業開始。大型廃棄家具などを駐車場スペースに降ろす(引っ越し業者)、COVID-19のデータは22日(木)pm9:30のデータが取れない。2日分のデータで補完予定。マンション setting・・・洗濯機排水処理(業者)、机组み立てなど。生活を始める。JCOM 午後 STB 回収。配

線撤収。自転車でマンションへ移動。

翌日 10/23(金)・・・JCOM 回線設置(業者)。マンション整理。

翌々日 10/24(土)・・・空調機取り外し(業者)、旧居大掃除

10/26(月)・・・旧居・・・道路際にある段差解消スロープ(ロードスペーサー)2 連撤去。大型廃棄家具引き取り。最終チェック。

まあそんなところか。10/27(火)から旧居の解体作業が始まる。当方の関与はない。ときどきマラソンで見に来よう。

■新居・・・ああ、草木の匂い、雨の降る音、虫のいない無味乾燥の生活が始まるのであろうか。いっそのこと諸国巡礼に旅立とう！

その 16 2020.10.17(土) ..キッチンとダイニングの断捨離

■10月22日(木)の引っ越しまであと5日。秒単位の仕事。過酷な断捨離。その16。

■最後の牙城。キッチンとダイニングに遂に断捨離の手が入った。すべて入用なものばかりといえ、1/3に減らさなければ住めないことは分かっている。残り時間が少なくなっていくに従い、次第に諦め度が増し、こっちは「えっ。こんなものまで」と思えるようなものが廃棄処分袋に入れられていく。大鍋類多数、ランチョンマット(木製)、シャブシャブ set、花瓶類・・。Video デッキ各種、テープなど無数。本当に大丈夫か？ 10/16
には、45L袋で13個、総計70kgをゴミとして処分。もう過去を振り返らない生活をしよう。

因みにゴミの山から親父や小生の永年勤続の純金の金杯が出てきた。しかるべきところに写真を撮って見積もってもらったが、これは50万円の値がつくらしい。驚き桃の木山椒の木である。

■スケッチ道具もついに仕舞う。机の上に広げられていたスケッチ道具類はダンボールへ纏めて引っ越しを済ませた。このblogに毎回掲載している拙画も墨汁、透明水彩、不透明水彩、色鉛筆、アクリル、竹ペン・・などと半端ない色々の絵の具や筆、パレットなどによるものであり、相当の面積を占めている。それらもこの先2週間は描かなくてもよいように処理したので、ダンボールに仕舞えることとなった。将来は画材を立体的に置くことにより面積の低減に努力したいところである。スケッチブック同様、現在のも将来的には捨てていくため創造という所作はつねに廃棄を伴うもので誰かにあげてしまうのが得策なのかもしれない。

■「あら、それアフタヌーンティーのセットでしょう。」よく言うものだ。今までその恩恵を受けたことのない小生は僻(ひが)むのである。

3段のタワーは大きさの違うお皿を載せられるように輪っかとなっている。ずっと台所の隅に置いていたものだ

が使ったのを見たことがない。カミさんに物の必要性を尋ねるとき、決まって「必要だ」と応える。どうも価値判断の基準が頭に浮かぶのではないだろうか。高貴な出自がじゃまをしているのか？ 有閑マダムが武蔵野の雰囲気の残る緑陰でお友達と午後の Tea を楽しむ という風景を払拭できないでいるのか。なにせ小生と結婚する前に、1 万坪の大邸宅のマダムとなることを夢見ていたというからにはまさにその夢をまだ追いつけているのであろうか。

大きすぎる花器など置く場所がなく、黒い屏風などだれも要らないというのに、正月のお花を飾るときに使う花器であり、その背景に盾として立てたいとぬかし候。まあ、4 畳半一間でも、彼女にとっては 100 畳敷きに映ってしまうのだろうか。「はいはい。」とお伺いを立てて損をした。引っ越し荷物が膨れていくばかりだ。それみたことか、グランドピアノに加えてアップライトも運び入れることになった。私はどこに寝ればよいのかと。一事が万事、だいたいどれも捨てようとはしないのである。而して寝る場所がなくなった哀れな男子は、諸国巡礼を頭によぎらせ始めた。だれか泊めてくださあーい。懇願を開始。

■硬貨ザクザク・・カミさんや子供たちがせっせと机のスミにため込んだ硬貨が 5kg ほど。ジップロップの袋にして 2 袋。リュックに入れて郵便局に running！ もう引っ越し騒動では 2 回目である。恥ずかしくて目も合わせられない。1 円玉 1,327 枚、10 円玉 645 枚など総計 13,363 円。郵便貯金しておいた。

■前夜の事態が少々動き始めた。22 日木曜日が引っ越しとして、20 日火曜の朝食を最後に、食器類をすべてバタバタと片付ける。食事の残渣が出ない条件であればすべてをパッキングできるという驚くべき計算。後は全部外食。カミさんもよく寝る割には頭を巡らせているものだと感心。そうともなれば話は早い。弾

丸のごとくあらゆる食器や什器は、重要度の違いでランク A,B,C とかにわけて、荷造りするのみである。台所の隅から何年も前のペットボトルが出てきた。これも非常時にはお風呂用に使えると・・はいはいと。もう逆らう元気はないのだ。ベランダ行きの諸物も増えてくるだろう。

■引っ越し先のマンションもチェックを開始。まあ。ここにも先住民の山のような残渣が。美術関係の図書数百冊。専門の業者へ持っていくと高く売れる筈だと、カミさんに負けずこちらも計算高い。靴箱からキャラバンが出てきた。Mont Bell の真新しい靴。履くとすっぽりと収まるではないか。これは洗ったら使えるであろう。貰っておこう。リュックなども小奇麗なものが何個か。ああこれらはもう小さくなってしまった小生の骨格に合うのである。

■和室にあった障子。もうボロボロである。綺麗に障子をはがし、紙を貼り付けようとしたがうまくいかない。紙なしの障子とは如何？ 素のままとして、遮光のカーテンでも誂(あつら)えよう。この障子の前にブーメラン型の大テーブルが鎮座し、小生の唯一の仕事場が展開される筈なのである。KB とマウスはこの際無線仕様のすっきりしたものに買い替えた。なにせ今使っているこの KB は「N」「M」「J」「K」「I」「O」が完全に見えなくなっているのだ。タッチタイピングが出来れば KB の印字なんて関係はないのであるが。癪ではあるが今度正式に教わろう。

その 18 2020.10.18-23(日-金) ..引っ越し前夜

■10/18(日)には、ピアノ専門の搬送業者 2 人がやってきて、グランドとアップライトをうまい具合に家の外に運び出し、マンションの吸音材床工事をしたあと設置。午前中で済んでしまったという。こちらは日本カミーノ・デ・サンティアゴ友の会の報告会の後部屋に運び入れる諸物の助人に馳せ参じようと思ったが、方向を変えて元の家に戻った。なんと部屋がガラーンとしており上野動物園のパンダの遊び場のようだ。今後日数はすくないが、8:42 からのラジオ体操を心置きなくやらしてもらえればそれでよし。家に持って来た時は、庭から入れたというが、今では植栽がありまならず。前の晩、丁度あった、アップライトの吸音材をもって部屋を移動してみた。廊下がクランクとなっている箇所で開催できないということがわかり急遽動線を替え、一旦隣の「梅の間」に入ったあと 90 度回転させて玄関に抜ける方法を提案。グランドピアノは足を外し、たてて運ぶのであるが、その幅はアップライトよりも狭い。よってアップライトが通った道をグランドが歩めば問題はない。マンションの方は、すでにグランドの下敷きを実際に持ってきて柱や廊下、部屋入口などを確認済なので ok である。設置後、ピアノを弾いたらしいが、お風呂のなかで弾いているようだ。ただ音漏れがどの程度あるのかを 19 日(月)にチェック。扉 3 つがあるので、廊下には漏れてはいない。部屋の中やテラスでは「弾いている」ということが分かる程度の音はする。まあよしとしよう。問題なのは階下である。どんな人が住んでいるのか、一度挨拶に行くべきだろうが、まずは知り合いが同じ階に住んでいるので聞いてもらおうかと。個人情報分からない今は挨拶にも行きづらいのである。

■売れそうな靴や什器を Off House に持っていった。やはり、どこも同じで、化粧ケースに入ったものや、ラベルが付いたものしか買い取れないのだと。靴は少し汚れていたのがダメだという。ガラス皿は裸の状態だっ

たので値が付かず、引き出物として木の箱に入った茶碗などのみに値が付いた。なんと合計 250 円。往復の車代くらいだ。持って行って損をした。誰かに上げるのが一番である。

■LED の蛍光灯が 4 部屋くらいにあるので、これらは外して持っていくことにした。最近の照明器具は天井にパチッと嵌めるタイプなので脚立さえあれば着脱は楽である。旧式の蛍光灯タイプのはマンションを含めてすべて廃棄することにした。そういう意味で今勉強部屋として使っている「松の間」の蛍光灯を外して粗大ごみにし、小生の寝室にある LED 照明と入れ替えた。ここで困るのが、2 階に照明が全くなくなってしまう点である。そこで考えた。山用のヘッドランプがあるではないかと。今夜から 2,3 日は夜に寝に行くときはヘッドランプで歩を進めるべきものと。

■テレビ台も粗大ゴミへ。TV をどこで見るか。小さな机があるので移動。しかし地震倒壊予防に敷いていたゴムクッションがなかなか取れない。ジェル状態で外れるのを嫌がるのだ。子供のほっぺたを抓(つね)るようにぎゅーっと引っ張るのであるが、相手もそれを嫌がり伸びるだけ伸びてやっと剥がせた。これを 4 足で繰り返す。大したジェル状のクッションである。グランドピアノでも 3 つの足の下に敷いていた輪っかが外せず苦労したという。もう床に一心同体になっておりなかなか外せなかったという。「引っ越し」とはこのように段取り上、計算外の時間がかかることを想定しなければならない。当日バタバタと何でも出来るということは思わない方がよい。こういうことで時間が取られるのであるから。

■ピクチャーレール・・・時計や額や写真などを吊るすには天井にレールを取り付けておくと便利である。このレールが 2 本もあるので取り外し始めた。これが結構しんどい。プラスネジが何個も付いていて手間取る。これも前日までには済ませておく。

■カーテン・・・これも時間がかかる。遮光用の薄いレースと厚いカーテンの 2 重構造となっていてレールを滑るようになっている。頻繁な開閉にも耐えられるように頑丈に作られているものである。プラスチックの羽交い絞めがなかなかカーテン生地から外せないのだ。相当の力がある。この数が半端ではない。端が一番やばいのである。なかなか外れないのだ。

■灯油・・・エアコンをあまり使わず石油ストーブに頼ってきた我が家。このストーブも粗大ゴミ行きであるがこう寒い日が続くとなかなか手放せない。部屋干しの洗濯物もすぐ乾く。そのために灯油も買い足したりして。この際灯油は使わずエアコンにしよう。明日思い切って廃棄だ。(10/19(月))。

この石油ストーブの廃棄は注意が必要。タンクを空っぽにするのは言うまでもないが、底に相当量の灯油が残っているので、それをゼロにしなくてははいけない。庭でひっくり返すのである。底に残った灯油が落ちないのだ。袋小路になっており底を行ったり来たりするだけで油が抜けない。2cm くらい溜っている。新聞紙で気長に吸い取っては新しいのを入ると、この作業を 30 回。いやー最も時間がかかった。この時間も引越す準備時間には見て置くべき。

■最後の生協がやってきた。キャベツは 1 玉あれば 2 週間は持つが、毎週来るように「定期便」の設定がされている。断らない限り毎週来るのだ。カミさんが断り忘れた。当方は毎日 133g などと計量しながら、朝餉を準備しているのにも関わらず、またキャベツが届いた。どうしてくれよう。もうお好み焼きでどっさりキャベツを食らうより手はないのでは。し、しまった。ホットプレートは既にマンションに持って行ってしまっている。何かを持って時々行っているのである。

而して食材を全て直前の 21 日までにマンションの小型冷蔵庫に移し替えよう。

本体の冷蔵庫は 12 時間前に空っぽにして電源を切っておいてくださいと。

■木曜日最後の洗濯もの(寝間着など)や歯ブラシ類は旅行鞆に詰め込もう。それを運んでもらう。ここでトラブル。4 桁の暗証番号が合致しないのだ。0000-9999 まで確かめている余裕はない。諦める。

■お琴はどうした。和服を着て弾くと似合いそうである。1 万坪の家では。しかし 4 畳半一間ではどこで弾くというのだ。これもピアノの隙間に立てかけておこう。

■大きな花器は？ カミさんのお袋の思い出の品らしいのだ。正月に松竹梅を活けるためのいい花器を見つけたと満面の笑顔で飛んで帰って来た時のことを覚えているという。直径 45cm もの大きい花器である。剣山を置き、花を活ければ見栄えがするであろう。大きな家では。しかし 4 畳半一間ではどこに置けと言うのか。しょうがない。これも時計と一緒に車で持ち込んだ。

その19 2020.10.21-23(水-金)‥引越しの実際 before-After。

■ 10/21(水)最終一般ごみ‥なんと 45L-27 袋。余りにも多い。集積場まで自転車でピストン輸送。車で市のセンターまで運ぼうとすると有料になる。重たい荷物を集積場へ。残りをセンターへと。悪知恵がついたものだ。しかし集積場に積み上げていくにしたがって欲がでてきた。きっちり詰めればなんとかなると。車はそのまま空き箱を get するために近くのスーパーを 3 軒ほど回り、これを 2 回繰り返す。箱のままに置いてある店も多く、大小が人目に分かり都合がよいが運びにくい。ペしゃんこにしているスーパーは逆に大きさがわかりづらく、組み立てなければならない。空き箱でスーパーの差がつくなんて。

■ 10/22(木)当日 8:00 引っ越しのお兄ちゃんたち登場。筋肉ムキムキかと思うとさにあらず。意外と華奢。しかし剛腕揃いである。タンスなど中身が入ったままひょいと持ち上げていく。聞くと日々引っ越しをやっており OJT で鍛えられるらしい。最後の確認をしてくれと言う。ok。車が去ったあと、発見した。風呂場の荷物がどっさり残っていたことを。教訓‥‥中核の部屋は ok でも、Life ライン(トイレ、洗濯機、浴室などの生活周り、天窓近い納戸)は見落としがち。運送屋に指摘された。洗濯機の上の開かずの扉になんと 45L 5 個分の諸物が出てきたことだ。これらは後で処理。

カーテンを外し別途廃棄。JCOM のケーブル回線、STB などを撤去工事。(16:00-16:30)。ガラーンとした部屋々々を写真に納めたりしながら退去。

新居ではカミさんが指図をしながら運び込みを進める。古い照明器具は家から持って来た新しい LED のと交換してくれたという。なんと親切な配慮だろう。最後にトラックの荷台を見に来てくれと言う。残留物がないことを目視で確認というシステム。運び忘れた諸物を車に詰め込む。

■ 10/23(金)翌日 JCOM 登場・・・TV、インターネット、Tel などの設定を行う。新しい STB では WiFi 仕様でモデムを内蔵しているという。

11:00 インターネット再開。

ガス最終清算 13:30・・・再度家に寄り点検。コンビニ弁当を食べているときふと上を見上げた。松の間の天袋。開かずの間であった、なんとまだいろんなものが詰まっている。75L・3 袋に粗大ゴミ 10kg。なんということか。カーテン生地だけでも 5 袋あるというのに。よく出るものだ。なにが最後か？

トイレ周りが残ったという感じか。

夕食・・・半径 200m 以内に区役所、郵便局、スポーツショップを含む大型スーパー、O Kスーパー、電気屋、Off Shop、食事処・・・。ほとんど何でも出来てしまう限界で、駅前よりも超便利である。カミさんと連れ立って最初の夕食を食べにいった。「味の民芸」へ。他にしゃぶしゃぶ店、ステーキドンなどがありきよきよしてしまう。今までどれほど田舎に住んでいたか分かるというものだ。旅行気分である。

■ 10/24(土)16:00-18:00 エアコン 5 台取り外しの作業、自転車も粗大ゴミに。

■ 10/26(月)家具など大きい粗大ゴミの引き取り。これで終了の筈

その20 2020.10.23(金)・新居近くのモーニングサービス

■引っ越し翌朝はパンなどの準備が間に合わず外食となった。朝外を歩いているとモントリオールを思い出す。なにか2人で旅行している感じだ。

なんと43年ぶりで夫婦同室の寝室。これからは毎日がホテル生活のような感じであろうか。ああ独立独歩の旧家が懐かしい。旧家との往来がなくなるはずの来週火曜日から100%マンション暮らしとなる。

■そもそもなぜこんなに便利かと言うと、30年前には旧国鉄の車両基地であった場所が、払い下げられ広域開発区域として整備されたものだ。公園、ショッピングストア、住宅、公共機関などが造成され、そこにタワーマンションが建つ予定で、募集が始まったのが2000年である。全棟の同時発売でなく、1,2番館が最初、2年くらい遅れて3,4番館。同じ棟でも階によって時間差が設けられ、色々な部屋数のバリエーションが選べるように抽選の機会が増やされていったようである。9階の間取りは4LDK、10階の間取りは3LDKといったように。当時会社を辞めた56歳の身で、転職先でばっちり70歳まで勤め上げることを前提にローンが組まれた。実際は68歳で打ち切りとなりその後はプー太郎の生活。いかに苦しかったか。まあ今回の引っ越しもその一環でそろそろ2重生活をやめ一本化という方向に舵を切ったという次第である。自由気ままな田舎の暮らしにさらば。今度は分別ある都会生活?。とても小生には似合わない。

その21 2020.10.21-23(水-金) ..引越し失敗事例

■梱包用テープ・・・運送屋から貰った紙テープはダンボール専用と思うべし。これをガラスを固定する積りで使った場合は剥がせなくなることを覚悟すべし。紙テープの粘着部分がガラス板にくっつき剥がせないのだ。家具の場合はもっと悲劇が。粘着力が強すぎて家具の塗装が剥がれる可能性がある。超注意。物を束ねるときには重宝でも解くときに苦勞する。ガラス板などは新聞紙で包みダンボールで挟むなどした上に紙テープ。ビニールのテープならそういう心配がないが力は弱い。45Lのゴミ袋にペタッと付いてしまうと剥がせないで注意。即穴があく。厄介な代物だ。養生テープがよいとの言あり。

■家具引き取り・・・予め伝票を購入するシステム。家具が上下2つに分解できる場合などは伝票が貼られていない家具が残される可能性がある、なるべく組み立てておくか、紐で結わって置かして「一つの物」を主張しておく。

■物干し竿・・・伸縮性のないものだと長すぎて運べない。クランクのある部屋だとそこを通らないことを覚悟。小生の所のものは5mもあったものだから2階の階段を下すことができないし、マンションにも運び込めそうになく、泣く泣く家に置いてきた。

■段差スロープ・・・車の出入りに便利な段差ブロックが2つもあったが、個片部分が錆びついて分解できず。粗大ゴミに出すことも出来なかった。最後の最後まで悩んだ末、近所の人に引き取ってもらった。切断する場合は電動ノコを使うべし。

■鋸・・・ガラス、金属、何でもcutできるノコギリ。謳い文句につられてカミさんが買って来た。ラケットを半分にし、大型の梱包材をcutできた以外は役立たず。”歯”が立たないのだ。こういう手の物は電動以外にあ

りえない。

■荷物の最終確認・・・天袋、納戸、床下など通常まったく触れない場所に物が大量に残っていないか最終チェックをすべき。おっとトイレの諸物、マット、ロールペーパー、手作りした棚の上の物。

■ダンボールの数・・・引っ越し業者が事前に持って来てくれるダンボールサイズで 50 個などではとても収まらない。大丈夫そうで大丈夫ではない。近くのスーパーなどでいろんな形の物を貰ってくる。使用頻度や重要度に応じて箱は分けたほうがよい。一緒くたに詰め込むと、引っ越し先で「行き先」に迷いがでて、結局重要書類が見つからないというハプニングがおきる。

■パソコンやプリンター、スピーカーの電源をすべて抜きケーブル類だけ纏めた場合に悲劇が起きる。機器ごとに電源ケーブルの形状が違うのである。12v のものは、丸 2 つという端子なので他とは違っている。ごちゃにしない方がよい。付属のケーブルはできる限り本体に括り付けておく間違いが起こらず良いと思う。照明器具のリモコンも同じ。ビニールテープなどで個別に管理しておく再利用の時に役立つ。

■いまだに出てこないもの・・・耳かきである。早く出てこーーーい。

■鍵・・・最終チェックのあと鍵を掛けて出かける。果たしてこれでよいのか。解体業者がカギを壊して屋内に入るのか？ 不用心であるからさすがに無施錠で家を空にすることはできない。解体当日鍵を渡すか、どこかに隠しておくか、当方のように雨戸内のガラス戸は開けておくなどの手はずが必要。打ち合わせておくべき。

■土地売買の場合は、入居時の土地取得額と今回の売買額の差分に税金が掛けられる。売買契約書などのしっかりした証書があるか再確認。引っ越しの荷物に紛れてどこかに行ってしまったのではないか。

■ビニールのゴミ袋は、20,45,70Lと様々な大きさの袋をコンビニなどで get し、嵩張るものは 70L を使う
など、使い分けたほうが能率がよい。

その22 2020.10.30(金) ..夫婦協働

■なんとこの1ヵ月ほど、共同して働きよく喋った月日はない。通常であれば阿吽の呼吸でお喋りする必要はなく喋っても「あー」、「うー」、「それ」で用が済んでいたものが、ここに来てよく会話するようになった。ホームセンターも歩いて200mなので、物置に入れる棚を見に行っただ。廊下の物入れは幅が(大)82cm、(中)79.8cm (小)76.2cmで奥行きは45cm。そこにお寿司用の桶を独立して取り出せるように棚を2段に分けて使いたいと言うカミさん。その願いを叶えるべく、広い店内を籠をころがせて探し回った。すっかり婆さんが手押し車を押す風体である。木でできたような物はなくスチールシェルフ(25mm用、幅76x奥行き35.5cmなど)とスリーブ(25mm用4組setなど)を組み合わせれば、(小)のほうの物置(幅76.2cm奥行き45cm)にすっぽりと収まる。まずスリーブなどの言葉がわからない。パイプの足を買うにもどうもスコスコで固定することはできない。カミさん店員を呼びに行った。こちらは部品群を見つめるばかりである。聞くとパイプには多数の刻みがあり、2枚のスリーブを挟むように巻き付けると、高さが自由に選べ、テーパーが付いているので棚の輪っかに旨い具合に収まるのだという。本体を組み立ててからでは物置に入らない。中で組み上げていく。そのようなこまごました家庭の細事を片付けていく。

次第に住みやすい我が家になっていく。4日もすれば8割はダンボールが無くなってすっきりした。100均でいろんなフックを買い、時計や、小物をぶら下げていく。障子の場所にカーテンをぶら下げるのだが、これは元の松の間にあった遮光カーテンを流用し伸縮棒に文房具の輪っかを通してぶら下げるようにした。ただ左右の開閉に伸縮棒の繋ぎ目でひかかり頗る操作性が悪い。ブラインドにしようかと相談すると断固反対する。木製の枠にねじ止めという行程がダメだという。傷を付けたくない。会社を辞めようとしたときは反対せ

ず、ブラインドで初めて反対した。このマンションをまた高く売るつもりではなかろうかと。そこでカミさん、カーテン売り場に連れて行き、カーテンレールに付ける太目の輪っかを見つけさせた。なるほどカーテン関係はカーテンの領域で探すのが手っ取り早い。早速付け替えて調子を見る。左右の開閉が楽になった。当分はこれで行こう。

こんな調子である。いままでこんな会話をしたことがなかったのだ。原則としては、「カミさんに逆らわず、元を取る」という姿勢を貫くべし。

(完)